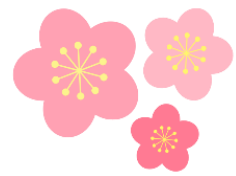




ほけんだより



令和6年3月1日 あいあい浜寺中央こども園

暖かい日が少しずつ増え、柔らかな春の日差しを感じられるようになりました。たくさんの思い出でいっぱいになった1年も締めくくりの時期となりました。子どもたちは心も体も大きくなり、成長ぶりに驚いています。残り少ない日々を、病気やケガに気をつけて新年度を迎えましょう。



音を聞く

大人が話す言葉を聞いて、言葉をまねして覚えていきます。「聞く」と言葉の発達は関係があります。

からだのバランスを保つ

耳の中の「三半規管」がバランスをとって歩いたり走ったりしています。

こんな症状はありませんか？

- よく耳を触っている。
- テレビの音を大きくする。
- 呼びかけても返事をしない、反応がにぶい
- 何度も聞き返す
- やたらと大きな声で話す。

※こんな様子が続くときは、耳鼻咽喉科を受診しましょう。

風邪からくる急性中耳炎に注意

風邪をひいた時、気を付けたいのが【急性虫耳炎】です。鼻水が耳管（耳と鼻をつなぐ管）を通して耳に流れ込み炎症を起こします。子どもは耳管が短くて太いため、急性中耳炎になりやすいです。

中耳炎は何度も繰り返したり、放っておくと滲出性中耳炎に移行することもあるためきちんと治療しましょう。

土踏まずの形成

生まれたばかりの赤ちゃんは扁平です。直立二足歩行を行うことで次第に土踏まずが形成されてきます。しっかり直立しているためには、足の親指・小指・かかとの3カ所で体重をきちんと支える事が必要で、そのために発達してきたのが土踏まずというくぼみです。らいおん組（5歳）のお友だちは、土踏まずの形成に良い鼻緒の草履を、5月より導入しました。履きだした当初は、土踏まずが形成されている児は33人中9名でした。しかし卒園前には33名中15名が形成、12名がほぼ土踏まずが形成されて大きく変化がみられています。



2月感染症発生状況

- ・インフルエンザA…2名
- ・インフルエンザB…3名
- ・コロナウイルス感染症…4名
- ・手足口病…7名
- ・感染性胃腸炎…1名
- ・溶連菌感染症…6名

2月はさまざまな感染症の報告がありました。感染症発生の際は初期対応が大切です。園内においても、手洗いの励行および、掃除や加湿・換気、消毒等を徹底して行っています。

安静と休養が基本

安静にすることで、ウイルスなどの病原菌と戦う力を助けます。風邪症状がなくなるまで、自宅でゆっくりしてください。無理に登園すると、症状が長引いたり、悪化することもあります。身体を休めて、体力を保つようにしましょう。少しでも普段と違う様子や、体調が思わしくない時は、病院を受診し療養するようにしてください。

今年度も最後の月になりました。1年を振り返ると、大きく成長を感じます。3月の身長と体重を、今年度当初と、一度比較してみてください。



3月の保健行事

身体測定

(乳児) 3月5日(火)

(幼児) 3月6日(水)

